【報告案】

3　統合に伴い配慮を要する事項に関することについて
～多様な課題を抱える児童生徒への支援～

「多様な課題を抱える児童生徒への支援」については、統合に向けての学校づくりの中で最重要課題であります。中でも「不登校等への支援」及び「様々な事情により、スクールバスに乗れない等通学時の支援」については、令和５年度に地域説明会等で出された保護者等が不安に感じている意見や現時点で考えられる支援等を踏まえ検討を行いました。

【資料】

（別紙資料５）地域説明会等における意見
（別紙資料６）多様な課題を抱える児童生徒への支援に関する意見

【検討結果】

令和５年度の地域説明会等で出された意見（別紙資料５）や検討委員会において各委員から出された意見（別紙資料６）をもとに、校内サポートルーム、教育支援センターや ICT を活用した自宅学習活動等も踏まえ、統合中学校開校準備委員会において、課題を整理し、児童・生徒や保護者の不安を解消できるよう具体的な対策を検討いただきたい。

また、円滑な統合に向けて、早期からの事前交流が大変重要であるため、関係機関の連携による効果的な交流の機会をより多く確保することで、児童・生徒及び教職員の不安を解消すると共に、統合後においても低年齢からの交流を継続し、室戸市の子どもたちが統合中学校に通いたいと思える学校づくりをすすめていただきたい。

別紙資料５

地域説明会等における多様な課題を抱える児童生徒への支援に対する意見
（いじめ、不登校等への不安について抜粋）

NO	項目	内　容
１	教育機会の確保	不登校の一部の生徒が教育支援センターに通われており、地元の学校になじめなくて校区外の学校に通う子もいたが、どう対応するのか。
２		今は他の学校という選択肢があるが、選択肢がなくなる。
３		実際いじめで学校変わっている生徒もいる。学校変わって、安心して通えているその子たちの逃げ場をなくしてしまう。
４		統合中になじめない子を統合中学校の中で支援と言っても、いじめ問題は、個別に教室を構えてそこで見ていくとか指導していくのは、それはレッテル貼りになる。絶対、余計外される。転校する人もいるが、遠くなったら逃げ場がなくなる。結局、登校拒否になって行き場を失う子が絶対出てくる。教室が違っても学校自体行けなくなる。
５		支援してもらえる場所に行けない。学校へ行けなくなった子どもをどうやって支援してもらえるのか。家に来てくれるのか。
６		統合すると教職員が令和１０年度では１５名ですけど、足りるのか。統合して生徒数が増えて、支援が必要な生徒の人数が増えた時対応できるのか。
７		なじめない子どもに対して、学校作るまではいかなくても、地域の小学校の教室の一つを避難教室として活用していくことができないか。
８	通学への課題	不登校になっていて、教室には入れず別室登校している。学校に行く時間も日によってバラバラで、バス、タクシーはまず無理である。個人でというのが難しい子どもも多いのも分かってほしい。
９		毎日遅刻しながら自転車で学校に通っている子らは、たぶん学校へ行けなくなる。バスにも一人だけでは乗れない。親が連れて行くと言っても仕事がある人は行けない。
１０		通学への不安として、心の問題でスクールバスで行けない子をどう支援していくのか。
１１		スクールバスに乗れない子をどうするのか。バス、タクシー代出すという対策もあるのでは。

別紙資料６

多様な課題を抱える児童生徒への支援に対する委員の意見（まとめ）

項目	内　容
学校内での支援	・校内サポートルームを設置し、教員資格のあるコーディネーターによる支援 ・ICT を活用してサポートルームからも教室の授業が受けられるよう、機器の整備等も含めた仕組みづくり ・新たな不登校を生じさせないために、楽しく、明日も通いたいと思えるわくわくするような学校づくり ・多様な課題を抱える児童生徒の不安について、他の児童生徒が理解するための機会の確保や手法の工夫
学校に行けなくなった場合の支援	・教育支援センターの活用 ・公民館等各地域で支援できる場所の確保 ・ICT を活用して自宅や教育支援センターから、教室の授業が受けられる仕組みづくり
通学時の支援	・スクールバスに乗ることができない生徒の保護者による送迎が難しい場合の対策 ・個々の事情に応じ、他の地域発着のスクールバスの利用を可能とするなどの柔軟性 ・信頼関係のある支援員等による公用車での送迎
事前交流	・不登校気味の生徒が多い学校に行かせることへの不安について、統合までにしっかり対策して、県、市、地域も一緒になって解決に向けて取り組む ・固定化された人間関係を広げて環境が変わるきっかけとなる交流が必要 ・他の地域の子どもとの事前交流の機会を多く設ける ・低年齢の頃からの継続的な交流（保育も含む） ・統合に向けて、事前交流や関係機関等の調整役（コーディネーター）の配置 ・各中学校及び小中学校の教員の連携
その他	・地域性、人間関係を考慮したクラス分けの実施 ・各小中学校間での開校に向けた教育活動の統一化